

## 【資料2】第3回伊予市都市再生推進調査会

伊予市都市再生推進調査会 主な意見と回答			
会議回数	No	種別	内容
〈まちづくりの課題・計画の基本的な方針〉			
第1回協議会	1	ご意見	コミュニティバスが運行されているが、乗車率が良くない。多くて一人か二人。その状況でコミュニティバスを走らす意義があるのか。意義があるのであればもう少し早く対策をとって、なぜこの状況なのか分析し、対応していかないと、市民に疑問を持たれてしまう。
	→	回答	コミュニティバスについては、実証運行ということで今進めている。その中で各路線の追加データを取りつつ、今後より良い運行ができるように検討したい。先ほどの意見は担当課に伝えておく。
	2	ご意見	伊予市の特徴として中心駅が利便性の高いところにある。さらに国道56号が市街地の中心に近いところを通る。また駅と幹線道路に挟まれた場所は（都市機能が）立地しやすいため、これを活かした中心市街地再生の施策を考えてはどうか。
	3	ご意見	駅前広場でバス、鉄道、送り迎えの車が停められるような場所ができれば。そこに人が集まれば周辺にサービス施設が増えるため、そうした場所に都市機能誘導区域を設定するといったのでは。
	4	ご意見	駅が中心市街地をつくる一方で線路はまちを分断する。南側が立体交差、北側が平面交差、当然ハード的に道路側から見たら立体交差が望ましいが、コストがかかってしまう。
	→	回答	伊予市駅のあたり、駅前の整備も含めて、自由通路を作れば非常に役立つのではないかと。駐車場は今年から開始する都市再生整備計画事業の中で、駅の近くに取得して整備する計画がある。将来的には駅前の広場にも何らかの手を入れたいという（担当レベルでの）思いはある。
	5	ご意見	松山都市圏の調整は松山市とできているのか。
	→	回答	一度松山市の担当者とは電話での連絡程度。松山広域都市圏域を構成する市であり情報交換しましょうということになっているが具体的にはこれから。
	6	ご意見	中心市街地、都市機能誘導区域等になりそうなところは旧市街地が多い。虫くいのようになっていたり。前面道路が狭かったり、敷地が細長かったりして方針が進まないのではないかと。そういったことに対して手当てなどはあるのか。
	→	回答	湊町あたりは敷地が狭く、建て替えも進んでいないことから虫食いになっている区域もある。土地区画整理などの必要があるが進んでおらず、これから検討していく段階。浸水区域内でもあり防災の観点からも住みよいまちづくりに向けた検討が必要。

## 【資料2】第3回伊予市都市再生推進調査会

〈都市機能誘導区域〉			
第2回協議会	7	ご意見	郡中駅、伊予市駅から高齢者の徒歩圏の範囲に設定されている。国道56号の商業施設のあるあたりや、総合保健福祉センターなど、エリアの幅や大きさは何を基準にしているのか。ウェルピアと港南中学校の付近も同じで広さの意味はあるのか。
	→	回答	総合保健福祉センターの付近は近隣商業地域の区域で設定している。下吾川の国道56号沿いについては、準住居地域と準工業地域の部分を中心に、診療所や保育所などの立地するエリアを囲むように設定している。 (郡中)小学校、(港南)中学校がある国道56号の米湊～上吾川については準住居地域に合わせて幅をとっている。(小学校・中学校は)浸水想定区域外にあり、避難所や防災拠点に位置付けられている。そのような箇所も含めて都市機能誘導区域ということで設定した。
	8	ご意見	防災対策推進区域の区域設定ではため池は考慮されているのか。
	→	回答	ため池のハザードマップはあるが、貯水量の大きいものを対象にしている。大谷池と八幡池など3～4つしか対象となっていないため、今回の区域設定の検討から外して考えている。
	9	ご意見	埋め立て地などは都市機能誘導区域には指定されないのか。
	→	回答	居住誘導区域の中に都市機能誘導区域を配置するという前提がある。湊町・下吾川の埋立地の周囲に居住の誘導は考えていないので設定しない。
〈誘導施設〉			
第2回協議会	10	ご意見	(誘導施設について)診療所には数多くの診療科目があると思う。居住誘導していったときに区域内にいろんな科目の診療所に来てもらいたいという思いがあり、◎の方がいいのではないかと。コミュニティ施設については、2施設しかなく規模もあまり大きくないため、もう少し充実させた方がいいのではないかと。郵便局については建物を新しくするから◎にしているのか。個人的には郵便局の機能は充実していると思っているため、ここは○でいいのではないかと。ウェルピアも防災拠点としては出来上がっていないため◎ではないかと。
	→	回答	医療施設は上位計画で現状維持が示されており、当面は現状維持を図りたいが、それぞれの病院の機能を拡張することで科目を増やすといった方向性であれば◎にできるよう検討できるかもしれない。 郵便局は設定した区域内に留まってほしいという思いから◎にしている。また、コミュニティ施設を増やすということについては、新設する地域交流センターを含め十分だと考えているためこのまま進めたい。 ウェルピアに関しては、防災機能を足していく方針であることから◎で検討したい。

## 【資料2】第3回伊予市都市再生推進調査会

〈誘導のための施策〉			
第2回協議会	11	ご意見	駐車場について、車を停めるだけでなく派生というか、それらをサポートする交通スタイルが中心市街地にあればいいと思う。
	→	回答	都市機能として位置づけるというよりは、施策の方で推進するという事で検討していく。
	12	ご意見	今回市の施策をつくるにあたって、エリア内に国からの支援などがあるのか。市の事業に対する国からの支援は。
	→	回答	図書館や地域交流センターなどの事業は、国土交通省所管の都市再生整備計画事業という昔まち交（まちづくり交付金）と言われていた事業で実施することとしており、通常であれば国から事業費の4割までの支援を受けるところ、今回の立地適正化計画を策定するという事で、5割までの支援を頂き、今年度から着手する。
	13	ご意見	都市機能の誘導は旧市内・中山・双海のエリアを代表してここにしかないものを誘導するという事か。たとえば市役所などそういったイメージなのか。計画の対象として設定するエリア、後背地はどこなのか。市内にいれば大きい病院も交通ネットワークもある。どれくらいのエリアでの中心なのか。
	→	回答	立地適正化計画は、都市計画区域内が対象。中山と双海の関係については都市計画マスタープランの方で触れられるかもしれないが、立地適正化計画に関しては、あくまで松山広域都市計画区域の中の一部という感じでとらえている。中山・双海は、たしかにJRの片道運行本数が市街地の3本もなく2本程度だが、小さな拠点として何かしら手当てができないかとも思っている。
	14	ご意見	居住誘導区域などのほとんどが浸水エリアに入っているのはいいのか。エリアに公共機能をすべて集積して災害でダメになると大変。まずは浸水エリアを改善していく担保などはあるのか。
	→	回答	愛媛県内、四国の海岸部は全く同じ状況。浸水想定区域を検討ゾーンから外そうとすると市街地が全て誘導区域から外れてしまう。ほとんどの市町が同じ状況で、避難警戒体制を構築するといったものを入れて議論を進めている。伊予市では、居住誘導区域を設定する際、同時に防災対策推進区域を設定しハード・ソフト面の両方から防災対策の向上を進めていきたい。
	15	ご意見	低未利用地、空き家を活用してほしいという思いもあるが、まちづくり郡中による補助など、どれだけ進めることができるのか、悲観している。自分が困っていなかったら貸したくも売りたいもなく、その土地をどうにかしようという考えもない人が多く、活用が進んでいない。また、まちなかの歩道整備なども一方通行や歩道の拡幅については意識が低い。商店街の住民に、そこを活用してもっと人を集めようという気合いが今一つ感じられないし、やる気のある人をみんなでバックアップしようという雰囲気にもなりにくい。
	→	回答	今まではまちなかに目を向けた都市計画事業をやっていなかった。今回、まちの中に街路灯やポケットパークなどの整備で変化をつけることが、何らかのきっかけになればいいと思っている。一方通行にする話は、前向きに捉えており、社会実験的になど協力できると思っている。